

令和5年(2023年)5月12日
教育ひとづくり審議会資料
ス ポ ー ツ 課

市営温水プールの廃止について

1 概要

市営温水プールは、市民の体力及び健康増進を図ることを目的に昭和56年(1981年)に開館し、一般遊泳から各種教室や大会が開かれ、多くの市民に利用されているが、42年目を迎え施設や設備の老朽化が進んでいる。

また、東海市と知多市において、令和6年度(2024年度)の開設に向けて、現在温水プールを含む新たな健康増進施設の建設が進められていることなどから、今後の市営温水プールの在り方について検討したもの。

2 本市の方針と施設を取り巻く状況

(1) 本市の方針

ア 東海市公共施設等総合管理計画

「施設の更新を行う際には、多機能化の視点による施設の複合化や近隣市との共同設置等による広域化を進め、保有施設総量の縮減を目指す。また、民間事業者によるサービスが充実している施設や機能は、公共による事業の廃止・移譲等を検討し、民間との連携による事業展開を進める。」としている。

イ 公共建築物再編計画

「温水プールは、西知多医療厚生組合や民間の温水プールの設置状況を見据え、在り方・方向性を検討する。」としている。

ウ 個別施設計画

「令和2年度(2020年度)に新たに民間事業者による温水プールを含む施設(コパン)が建設され、また、西知多医療厚生組合による温水プール等の健康増進施設の整備が進んでおり、市内の屋内プールの充実が図られてきていることから、施設の方向性を検討する。」としている。

(2) 市営温水プールを取り巻く状況

ア 令和6年度(2024年度)に知多市との共同設置による温水プールを含む健康増進施設が開設される。

イ 市内では、民間事業者による屋内プールが3か所運営されている。また、公共施設としては、しあわせ村健康ふれあい交流館で温水プールを含む温浴室が運営されている。

【資料7】

ウ 市営温水プールは、開館から42年目を迎え老朽化が進んでおり、今後の10年間で約7億2千万円の運営費と東海市スポーツ施設長寿命化計画においては約2億4千万円の外壁改修などの整備費を計上している。さらに、温水プールに係る設備等においても老朽化により大規模な更新費用が必要となる。

3 施設の方向性

市営温水プールは、公共施設等マネジメント推進本部会議などを経た上で、「2本市の方針と施設を取り巻く状況」に置かれており、これを総合的に勘案したところ、知多市緑町地内に建設される健康増進施設の令和6年度（2024年度）の開設に合わせ、令和5年度（2023年度）末をもって施設の廃止に向けて、必要な手続きを進めることとするもの。

なお、市営温水プールの利用者が継続して利用することができるよう、教室内容等について健康増進施設と調整していくもの。

4 参考

(1) 利用者の推移

年度	利用人数
昭和58年度（1983年度）	123,343人
昭和63年度（1988年度）	151,232人
平成5年度（1993年度）	130,575人
平成10年度（1998年度）	94,108人
平成15年度（2003年度）	77,962人
平成20年度（2008年度）	95,881人
平成25年度（2013年度）	48,841人
平成30年度（2018年度）	93,883人
令和3年度（2021年度）	70,424人

- ・平成元年度（1989年度）の159,258人をピークに減少傾向になるも、平成18年度（2006年度）の指定管理者制度導入後いったん増加したが、近年は9万人台を推移。
- ・約3分の2が大人、約3分の1が中学生以下の利用者
- ・平成25年度（2013年度）は、非構造部材等改修工事のため休館対応（10/19～3/31）
- ・令和3年度（2021年度）は、新型コロナウイルス感染症対策により一部時間短縮対応

5 パブリックコメント

当施設は、全市民を対象として運営していることから、その廃止にあたっては、

【資料7】

市民に対する情報提供を行うとともに、提出された意見を考慮しながら廃止の手続きを進める必要があるため、パブリックコメントを実施し、行政運営における公正の確保と透明性の向上を図るもの。

パブリックコメント掲載資料については、別紙「市営温水プールの廃止について(案)」のとおり。

実施期間：令和5年（2023年）5月10日（水）から6月8日（木）まで

市営温水プールの廃止について（案）

1 設置の背景と目的

市営温水プールは、市民の体力及び健康増進を図ることを目的に昭和56年（1981年）に開館し、一般遊泳から各種教室や大会が開かれ、多くの市民に利用されてきました。



2 施設概要

- 開館年月 昭和56年4月
- 建物概要 鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）2階建
- 建築面積 2,718.8㎡ 延床面積 2,911.4㎡
- プール槽 50m×7コース（水深1.2～1.4m）
- 開館時間 午前10時から午後10時まで
- 休館日 原則、毎月第1月曜日



3 現状分析

（1）市営温水プールの運営の変化

●昭和56年

市直営により、市民の体力及び健康増進を図ることを目的に開館

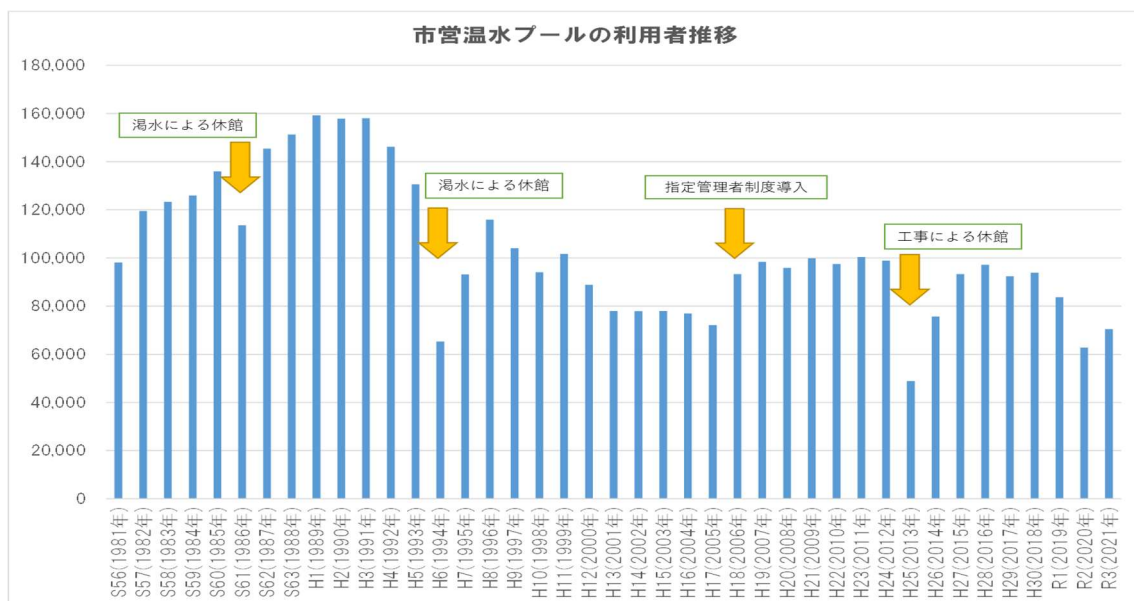
●昭和61年

「管理委託制度」を活用し、市が指定する団体への委託による運営へ移行

●平成18年

「指定管理者制度」を活用し、民間事業者による運営へ移行

（2）施設利用者の推移



昭和56年4月に開館。平成元年度には最大となる159,258人の利用があった。直近の令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、70,424人の利用者となっている。

(3) 施設の老朽化

東海市は市制施行から50年を迎え、数多くの公共建築物が建設から40年以上経過し、今後、更新時期を迎えます。当施設は、開館から42年目を迎え老朽化が進んでおり、今後の10年間で約7億2千万円の運営費と東海市スポーツ施設長寿命化計画においては約2億4千万円の外壁改修などの整備費を計上しております。さらに、温水プールに關係する設備等においても老朽化により大規模な更新費用が必要となります。

(4) 市内施設の現状

市内では、民間事業者による屋内プールが3か所運営されています。また、公共施設としては、しあわせ村健康ふれあい交流館で温水プールを含む温浴室が運営されています。

(5) 新施設の開設

令和6年度（2024年度）に知多市との共同設置による温水プールを含む健康増進施設が開設されます。新施設には温水プールの他に、トレーニングジムや屋外健康増進ゾーンなども開設される予定です。

4 施設の廃止

本市の方針として、施設の更新を行う際には、多機能化の視点による施設の複合化や近隣市との共同設置等による広域化を進めること、また、民間事業者によるサービスが充実している施設や機能は、公共による事業の廃止・移譲等を検討し、民間との連携による事業展開を進めることとしており、市営温水プールを取り巻く状況の変化等を総合的に勘案し、知多市緑町地内に建設される健康増進施設の令和6年度（2024年度）の開設に合わせ、令和5年度（2023年度）末をもって施設の廃止を予定するものです。

■ 市営温水プール廃止に伴う施設利用について

